

センサーダミーカメラ SD-DM1

使用方法 用意する物: 新品単3形乾電池3本

1 取り付けプレートを外します。

①プレート下部のロック解除つまみを押し下げる
②90°回す
③手前に引き抜く。

ロック解除つまみ

2 背面カバーの上下にあるビス (+) をドライバーで外します。

※ビスは抜けませんので、ビスが空回りしたら、付属の工具で背面カバーを取り外します(2参照)。

3 付属の工具を使って背面カバーを外します。

※お手持ちのコイン(大きめ)でも開けられます。
※初めはきつく閉まっていますので、外す時は怪我をしないようにご注意ください。

※本体下部の出っ張りとの隙間に工具を差し込み、ゆっくりねじります。

4 電池BOX蓋を開け、新品の単3形アルカリ乾電池3本を(+)(-)の向きを間違えないようにセットします。

5 スイッチを写真か動画にします。

※動作はどちらでも同じです。

取付方法

●平らな面に両面テープかネジで取り付けれる。

①付属の両面テープかネジで取り付けます。

●柱や杭に取り付けれる。

①取付プレートにヒモを通します。
②柱などにヒモで固定します。

●取付プレートへの取付方法

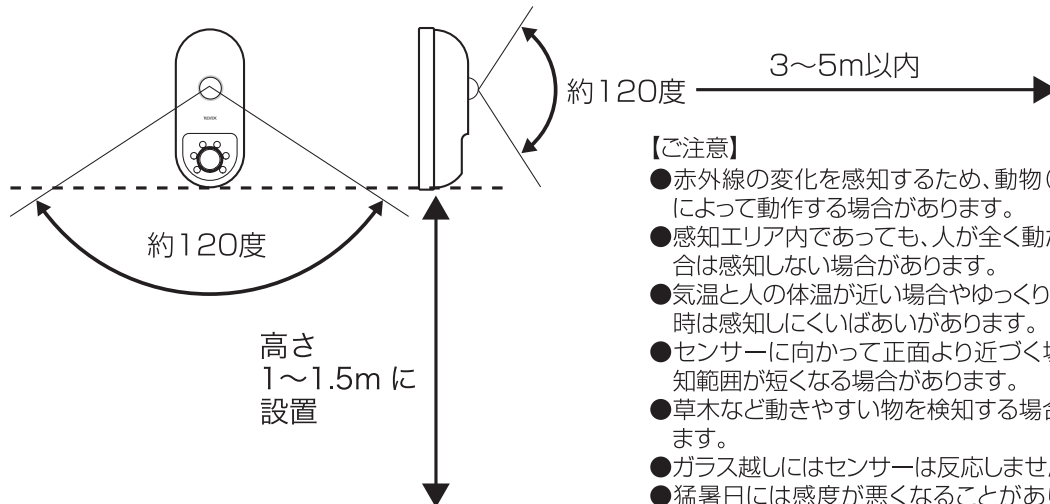
①本体を横にして溝に差し込む。
②90°回す
③カチッという感触がしてロック完了

【ご注意】

- 取付場所を選ぶ際、完全防水ではありませんので直接雨のかからない場所をお選びください。
- 本体背面カバー底部に、水抜穴が開いているため、取り付けの際、取付プレートに本体を上下逆に取り付けてしまうと、水が入り、故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 完全に取り付ける前に、動作テストをしてから取り付けてください。
- 塗装面やクロス面等に取り付ける場合は、塗装のはがれや、クロスの破れ等に充分注意してください。
- 本機の取り付けや取り外しの際に生じた、クロスの剥がれや両面テープの汚れなどにつきましては、当社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

直接雨のかかる場所で使用する場合は、専用防雨カバーSD-CV1(別売)をお求めください。

人感センサー感知範囲



【ご注意】

- 赤外線の変化を感知するため、動物(犬や猫)によって動作する場合があります。
- 感知エリア内であっても、人が全く動かない場合は感知しない場合があります。
- 気温と人の体温が近い場合やゆっくりした移動時は感知しにくい場合があります。
- センサーに向かって正面より近づく場合は感知範囲が短くなる場合があります。
- 草木など動きやすい物を検知する場合があります。
- ガラス越しにはセンサーは反応しません。
- 猛暑日には感度が悪くなる場合があります。

安全上のご注意

ご使用の前に良くお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠ 警告【人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容】

- 乾電池のプラス(+)、マイナス(-)を間違えてセットしない。間違えてセットしますと乾電池が急激に発熱し爆発や液漏れにより損傷を負うことがあります。液が皮膚に付着した場合は、すぐに液を流水で良く洗い流してください。目に入った場合は医師にご相談ください。
また、飛び散った液はティッシュペーパーや雑巾等できれいに拭き取ってください。
- 外した電池は、小さなお子様の手の届かないところで保管するか廃棄してください。

⚠ 注意【人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容】

- 機器を投げない。落下させない。(人に当たるとけがをする可能性があります。)
(本体ケースが落下により破損した場合は、保証の対象にはなりません。)
- 電池切れで点灯しなくなったらすぐに電池を外す。使用しないで保存する時は、必ず電池を抜いておいてください。
(液漏れにより機器を壊す、置き場所の床やカーペット、家具を汚す恐れがあります。)
- 分解、改造、修理などしない。(火傷や感電の原因になります。)
- 異常が発生したら電池を取り外す。(発熱、発火の原因になります。)
- 高温の場所(ストーブの近くや車の中など)に置かない、使用しない。(故障や電池の液漏れ、誤動作の原因になります。)

使用上のご注意

1. 製品について

- LEDの交換はできません。
- 商品の特性上、LED光の色や明るさにバラツキがでる場合がありますが、不良ではありませんので、ご了承ください。
- LED色と明るさは電池電圧により変化する場合があります。
- LED点灯時間の調整はできません。
- 仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2. センサーについて

- センサーの感度調整はできません。
- 使用環境によってセンサーの誤動作や感度が変化する場合があります。
- 気温が30度以上の高温下では、感知感度が低下しますので本器に近い場所でしか感知しないことがあります。
- 屋外使用時に太陽が感知範囲を照らしているときは、太陽光による熱線の動きで誤動作することがあります。
- ガラスやフィルム越しの動きは赤外線のカットしますので、感知しません。
- 屋外設置時は風や動物、植物の動きなどを感知することがあります。

3. 電池について

- 電池は全て新品の同一メーカー・同一ロット生産のアルカリ電池を使用してください。
異なるメーカーのものを混ぜる、新旧を混ぜて使用する、期限切れの近い電池を使用するなどするとすぐに電池が使用できなくなります。
- マンガン電池を混ぜて使用しないでください。すぐに機器が動作しなくなります。
- 濡れた手で、或いは機器が濡れているときに電池交換をしないでください。故障の原因となります。
- 電池を落下させる、電池に圧力や衝撃を加えるなどしないようにしてください。液漏れの原因となります。